

DX 推進方針

■■■■ ① 経営ビジョン × DX ■■■■

一般社団法人 FRONTIERE は「人生に寄り添うパートナー」という理念のもと、福祉・医療・地域サービスを通じて、利用者一人ひとりの生活の質向上を目指しています。

しかし、福祉業界では

- ・人材不足
- ・業務の属人化
- ・紙中心の業務

といった課題が存在しています。これらの課題に対し、当法人はデジタル技術を活用した経営改革（DX）を推進し、持続可能な福祉経営の実現を目指します。

■■■■ ② DX 戦略 ■■■■

当法人は以下の 3 つを柱として DX を推進します。

1. 業務効率化

- ・支援記録のデジタル化
- ・請求業務の自動化
- ・紙業務の削減

2. サービス品質の向上

- ・利用者データの蓄積と活用
- ・支援内容の見える化
- ・個別支援の高度化

3. 経営基盤の強化

- ・事業所間のリアルタイム情報共有
- ・経営数値の可視化
- ・迅速な意思決定

■■■■ ③ DX 推進体制 ■■■■

当法人では、DX 推進のため以下の体制を構築しています。

- ・代表理事を DX 推進責任者とする
- ・各事業所に DX 担当者を配置
- ・外部 IT パートナーとの連携
- ・定期的な進捗確認会議の実施

■■■■ ④ IT 環境整備 ■■■■

DX を推進するため、以下の環境整備を行います。

- ・クラウド型業務システムの導入
- ・チャットツールによる情報共有
- ・データ蓄積・分析基盤の構築
- ・モバイル端末による現場入力

■■■■ ⑤ KPI (成果指標) ■■■■

DX の成果を測るため、以下の指標を設定します。

- ・業務時間削減：年間 20%削減
- ・記録入力時間：30%削減
- ・利用者満足度：90%以上
- ・売上：3 億円
- ・利用者数：150 名体制

■■■■ ⑥ 課題認識 ■■■■

現状の課題として以下を認識しています。

- ・業務の属人化
- ・紙中心の業務
- ・情報共有の遅れ
- ・教育体制の未整備

これらを DX により改善していきます。

■■■■ ⑦ セキュリティ対策 ■■■■

当法人は、利用者の個人情報を適切に管理するため、以下の対策を実施します。

- ・クラウドセキュリティ対策
- ・アクセス権限管理
- ・情報管理ルールの整備
- ・職員へのセキュリティ教育

■■■■ ⑧ 経営者メッセージ ■■■■

代表理事 川崎安功

福祉業界は人に依存する構造が強く、属人化や非効率が課題となっています。FRONTIERE では DX を通じて「仕組みで支える福祉」を実現し、働く人の成長と利用者満足の向上を両立させていきます。デジタルの力を活用し、より質の高い支援を提供し続けていきます。